

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

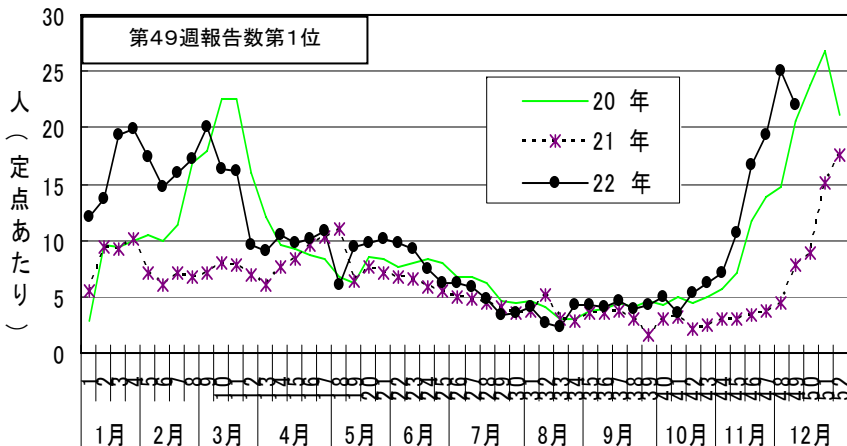


KAWASAKI CITY

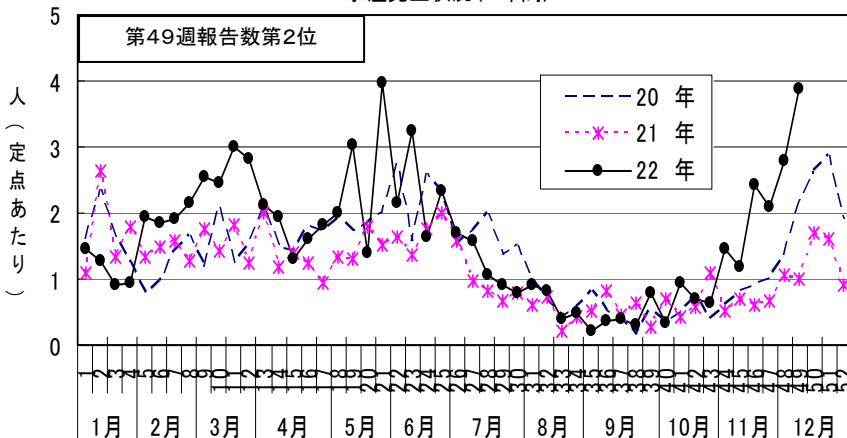
平成22年12月6日（月）～12月12日（日）〔平成22年第49週〕の感染症発生状況

第49週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎は定点あたり22.06人と前週（25.09）より患者報告数は減少しておりますが、依然として流行発生警報基準値（定点あたり20人）を超えておりますので、今後の動向に注意が必要です。
 水痘は定点あたり3.88人と前週（2.79）より患者報告数は増加しており、平成11年以降の同時期と比較すると、今年は最も多い報告数となっております。特に多摩区においては定点あたり11.80人と、4週連続で流行発生警報基準値（定点あたり7人）を超えております。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



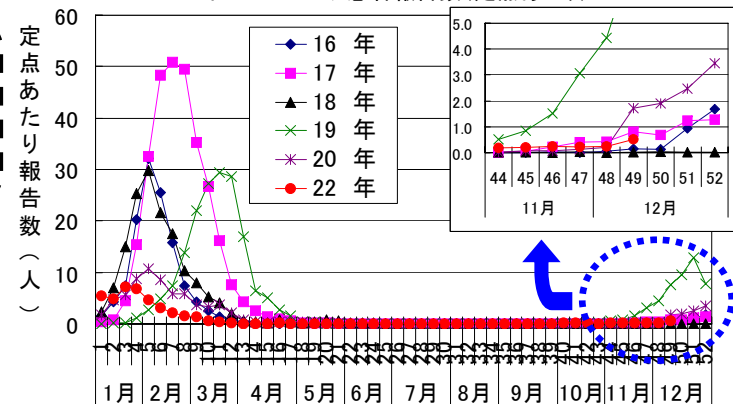
インフルエンザの流行時期に向けて準備開始！！

川崎市の第49週におけるインフルエンザ患者報告数は、定点あたり0.51人と前週（0.24人）に比べて増加しており、全国的にも増加傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。
 これから冬本番で寒さが厳しくなりますので、次のインフルエンザへの対策を徹底し、体調管理に気をつけ、元気に冬を過ごしましょう。



右のグラフのとおり、例年12月頃から患者報告数が増加し、翌年の1月から3月にかけて流行のピークがあります。※流行開始の目安は定点あたり1人とされています

インフルエンザ患者報告数(定点あたり)



インフルエンザ対策

1:咳エチケットを忘れずに！！

- ①咳が出たらマスクを着用しましょう。
- ②マスクがない場合は、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけて、1m以上離れましょう。
- ③咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。



2:こまめに手を洗いましょう

手にはインフルエンザウイルスが付着している可能性が高く、その手で目や鼻、口をさわることによって感染します。せっけんと流水で、こまめに手を洗う習慣をつけましょう。



3:重症化を抑えるワクチン接種を

ワクチンは感染予防に加え、感染した際に症状が重くなることや死亡することを予防する効果があるとされています。流行が始まるまでに受けましょう。

